

<p>兵庫県RSTトレーナー会</p> <p>だより 第3号 &lt;年2回発行&gt;</p>	<p>発行日 平成26年10月1日</p> <p>発行者 会長 深田朝則</p> <p>編集者 金田 稔</p>
--	--



<トピックス>

- ・全国労働衛生週間 平成26年10月1日(水)～7日(火)  
スローガン 「みんなで進める職場の改善 心とからだの健康管理」
- ・全国産業安全衛生大会 平成26年10月22日(水)～24日(金) 広島市開催
- ・全国安全週間 平成26年7月1日(火)～7日(月) <終了>  
スローガン 「みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害」
- ・兵庫ゼロ災推進大会 平成26年7月3日(木) (一社)兵庫労働基準連合会主催
- ・兵庫労働安全衛生大会 平成26年10月8日(水) 西宮市開催

目次

1、はじめに	「我が社の安全の取り組み」	特別顧問 安達 寛	P-2
2、事業所見学研修会の報告(9月16日)	株式会社ノザワ 高砂工場		P-5
3、平成26年度兵庫県RSTトレーナー会定期総会報告(4月25日)			P-6
4、自由投稿	「ウオーキングのすすめ」	副会長 兼田洪男	P-7
5、定例会(役員会)・安全衛生行事参加報告(4月～9月)			P-9
6、事務局からのお知らせ			P-10

## 1、はじめに

我が社の安全の取り組み  
＜定期総会・安全講話より＞

兵庫県RSTトレーナー会  
特別顧問 安達 寛  
株式会社リケン工業代表取締役

当社の仕事は、JR関係の電気工事と民間では自然エネルギー関連工事を行っております。駅舎関係の電灯工事を主に行っていますが、たまに、非常に危険な線路際の高電圧電線の張替え工事もあります。また、自然エネルギー関連工事に関しては今流行の事業用に特化した太陽光発電設備工事も行っております。

平成17年4月25日に発生した、JR福知山線の脱線事故の関係もあり、JR関連工事の安全に対する教育がますます厳しくなり、自主安全管理体制を強化するようにとのお達しがでておりました。そんな危機感を常に私どもは持っており、全てにおいて安全を第一と考え行動しております。

そもそも、当社リケン工業が、安全に対する取り組みを強化して行くと決めたのは、昭和63年に（26年前）JRの電気工事中に起きた当社社員による感電墜落事故が起因しております。事故の詳細を後で確認しますと、高圧配電線が隣接している、非常に危険な工事だったので、作業員に対し、施工前のミーティングで安全指示書により綿密に説明、指示したにも関わらず、それを無視して単独作業を行った事による感電墜落死亡となった様です。会社としては客先への対応、遺族への対応など開業して以来最大の危機的な状況でした。その教訓として私は経営者として「安全に対する取り組みを強化しよう」と決意しました。その取り組み内容を紹介します。



定期総会での安全特別講話  
安達 寛 特別顧問

当社は毎年4月の年度初に安全衛生管理計画書なるものを作り、社員に周知徹底しております。

- ・安全管理体制の構築
- ・安全施工体制の確立
- ・労働災害防止月別実施項目の提示
- ・運転事故防止月別実施項目の提示

禁止事項と遵守事項の提示を社員に示し、安全に関する、新年度の方針を掲げています。そして、朝礼、作業前、作業終了時ミーティングの確実な実施と事務所内で行う、難工事の作業計画書及びリスクアセスメント・作業着手前のリスクアセスメントの確実な実施。そして月1回の安全衛生会議を実施し、安全感度を高めております。

ありとあらゆる安全に関するキーワードを用いて、講習するのですが、当社の安全会議の中で比較的良く使う言葉がございます。

一つ目は、“社会的手抜き”という言葉です。

集団で共同作業を行う時に、一人当たりの与えられた作業量が、人数の増加に伴って低下する現象の事ですが、別名、フリーライダー現象や綱引き実験という名称の方が有名かもしれません。

当社では10名以上のメンバーで作業する時、作業効率を良くする目的で、出来るだけ小分けに班編成を行い、班長に責任を負わせる様に指導しております。安全面においても、10名以上のメンバーで作業責任者1名では、目が届きません。責任者2名で班長3名、作業員2名×3班 合計11名の班編成が理想だと考えております。指示事項の風通しが良くなれば、作業効率も、安全感度も高まります。それと、集団の中の個人の成果が大人数の中では評価しにくいのが、小分けに班編成を行うと、どれ位貢献したかが解かり易く、認められ易いので、作業員のモチベーションも上がるメリットもあります。

次の言葉は“集団浅慮”という言葉です。

集団浅慮の本来の意味は、会議などの集団での意思決定場面において、最善の選択を模索するよりも何かを決定することに意識が向き、本来の議題に対する考えが浅くなることを言います。

集団浅慮が起りやすい環境要因は3つあります。

- ① 時間的要因           時間が無いときは、決定することが優先されやすくなります。
- ② 専門家の存在       自分よりも遥かに知識の豊富な構成員がいると、その専門家に追従し構成員が自分の頭で考えなくなることがあります。
- ③ 利害関係           会議において特定の利害関係があると、自分にとって有利な決定がなされるように意見を発言し、会議の内容そのものに対する考えが浅くなることがあります。

その中の“専門家の存在”というのが、当社にとって関係があり、くせものなのです。

私も現場で体験した内容ですが、

JRの線路際の工事を行う時、本来、線路際に入場する際、列車見張員を配置してから、列車ダイヤを確認し、尚且つ、目視の現物確認を行ってから現場に入場するのが通常ですが、その時は、違いました。

JR元請会社のベテラン社員の方が、さ～現場に入るぞ～と号令を掛けられたのですが、何の考えも無く、ふらふらと言われるがまま、誘われて付いて行ってしまい、何の確認もせずに、線路際に入場してしまったと言う事例です。

入場して直ぐに快速急行の列車が通過して、危うく、触車が列車を止めてしまう事故につながる所でした。

専門家の存在 先程の知識豊富な構成員が失敗してしまうと、他のメンバーは頭が働いていないので、全員失敗してしまうという現象です。当社は、このケースが非常に多く、この事項に関連する事象を多く発生させています。

こういった事が無い様に、このような事象が発生する可能性のある現場に関しては、同等レベルの作業責任者を2名配置して、競わせ、Wチェックする様に当社では心掛けています。

いつも安全会議時に喋るキーワードとして他にも次の言葉が有ります。

ヒューマンエラーファクター・フェーズ理論・指差喚呼の効果・ハインリッヒの法則・ストレスが原因の労働災害・エコーの法則・マーフィーの安全衛生の法則・確認会話など、毎月1回必ず発している言葉なので、多分、社員、作業員全員、その内容を分かってくれていると思っているのですが。

事故が起きる、その前に、その時に、その瞬間に、頭、体が理解して反応してくれるのか？と言うと、多分動かないと思います。要は体が直ぐに反応を示す位まで、しつこく、習慣的に、軍隊ではないですが、訓練、鍛錬しないと、くせがつかないと思います。

仕事に関しては会社全体で議論、検討、対策を練り、担当者個人で責任を負わさない様に経営者側でチェックしていかないといけません。放っておけば、何故か、個人で抱え込んでしまい、とチェックメイトとなってしまいかねません。出来るだけ作業員に精神的なリスクを負わせない様にするのも大事な事だと思います。

大きな事故を経験して初めて、安全に対する考え方が変わるというのでは、遅すぎます。世間一般に対しても、安全に対する重要性をRSTトレーナー会からも、発信していく必要があるのではないかと思います。

今後もこの素晴らしい、RSTトレーナー会に出席いたしまして、色々な会社の安全の取り組みを聞かせて頂き、安全感度を高めるヒント、仕掛けを学んで、当社に持ち帰り、社員に周知していくと共に本会が発展すべく、出来る限りの寄与をしていきたいと考えておりますので、今後とも宜しく願います。

—ご安全に—

## 2、事業所見学研修会の報告

報告 金田 稔

- ・開催日 平成26年9月16日(火) 14時～16時
- ・事業所 株式会社ノザワ 高砂工場(兵庫県高砂市高須1-1)  
(ご案内者) 仲村工場長、岡本次長、本間係長、近藤係長
- ・参加者 会員11名 深田、兼田、柏原、岩下、東、山本、高橋、太田、藤原、玉作、金田  
特別参加2名 山口政雄(大阪交流会会長)、浜口卓也(奈良交流会会長)

### <会社概要>

株式会社ノザワは、明治30年に創業され、平成9年に創業100周年を迎えられ、資本金は24億4900万円で東京証券取引所(市場第2部)に上場されています。事業活動は日本全国にこまなく拡がっており、販売と施工の両面で、本社(神戸市)札幌から九州まで7支店の拠点と、生産・開発の中核で4工場(富良野・埼玉、播磨・高砂)・1研究所で、お客さまへのサービスにんでいます。

### <工場見学>

見学に先立ち、安全担当者より高砂工場の沿革と安全管理について詳しく説明をいただきました。高砂工場の主力品は不燃建築材の「ボード」を昭和48年より生産を開始し、厚みと大きさの多品種少量生産でお客さまの要求に応じておられます。安全管理は、会社の基本理念(朝礼時に全員で唱和)に沿って統括安全衛生責任者(仲村工場長)の下で、毎月1回開催の安全衛生委員会を中心に安全衛生活動を進められ、特に全員参加による「ゼロ災運動」を強力に推進され「ヒヤットBOX」制度は顕著で成果を十分あげておられ、ゼロ災害成績は平成21年3月より2,000日を超えて現在も継続中です。その他に、作業標準書(現場に掲示)、RA、KY活動等の紹介がありました。

工場内の見学は2班に別れて、ボード製造工場～加工工場を、ボードは鉄板上にコンベアラインで塗布～乾燥～表面仕上げ～寸法仕上げ～オートクレーブ(最終工程)案内いただきました。

工場内はボードの搬送でフォークリフトの走行が頻繁であり、運転者は防塵マスク着用の義務づけ、粉じん対策改善のためダクトの追加や送風による工夫で「第3管理区分から第1管理区分」に改善されたとのことで大変苦勞されたと感じました。

### <意見交換会・質疑応答>

- ・クレーンのワイヤー日常点検について色別管理の意見がありました。
- ・全員参加の作業改善「ムダ取りBOX」提案制度の紹介いただきました。
- ・ノザワ安全基本理念 “一人ひとりの人間を尊重し、全員参加で高い安全衛生文化をつくろう”



高砂工場の会議室で  
記念撮影

高砂工場の皆様、お忙しい中を見学研修会にご協力いただき有難うございました。見学者は学ぶ立場であり、安全監査ではないので工場の良い点を学ぶ心がけが必要と思います。 安全に

### 3、平成26年度・兵庫県RSTトレーナー会定期総会（第2回）報告

- ・開催日：平成26年4月25日（金） 場所：(株)ノザワ本社2階会議室
- ・ご来賓：4名 兵庫労働局 安全課 安全専門官 原田昭一 様  
（一社）兵庫労働基準連合会 顧問 岸本丈夫 様  
神戸東労働基準協会 専務理事 二宮保夫 様  
大阪安全衛生教育センター 所長 早木武夫 様
- ・他交流会：3名 大阪安全衛生トレーナー交流会 会長 山口政雄 様  
和歌山県RSTトレーナー会準備室 室長 田林茂和 様  
神奈川県RSTトレーナー会 会長 大橋正朋 様
- ・会 員：深田朝則会長以下 20名出席 （会員数26、委任状6）

高橋和子幹事（総合司会）よりご来賓の紹介があり、各ご来賓より各機関の活動状況並びに安全衛生情報のご紹介講話をいただきました。特に原田専門官からは、兵庫12次防の活動重点項目である「兵庫リスク低減運動」について詳しくご説明をいただきました。兵庫県RSTトレーナー会は主催者「兵庫労働安全衛生マネジメントシステム推進連絡協議会」のメンバーです。

また、定時総会は深田会長の議長により、平成25年度事業実績報告、平成26年度事業計画等の議案は全会一致で承認されました。



深田会長挨拶



ご来賓（左より） 原田安全専門官 岸本顧問  
二宮専務理事 早木所長

平成26年度活動基本方針<深田会長より>

- 1、会員の資質向上を目的とした研修会の開催（毎月1回）  
職長等教育の12教科とリスクアセスメントの導入取組についての  
実践講話手法の強化（会員講師により実施）
- 2、優良事業所の見学研修会の実施（年2回）
- 3、広報誌「だより」の発行（年2回）
- 4、安全衛生教育情報の提供とサービス（ホームページの活用）
- 5、会員相互の親睦・連携の強化および健康増進と会員増強の促進
- 6、職長・安全衛生責任者教育・安全衛生大会への講師の派遣等の実施（有料）

第2部は、当会特別顧問の安達 寛様（㈱リケン工業代表取締役）より「我が社の安全の取り組み」として特別講話をいただきました。

以上

## 4、自由投稿

ウォーキングのすすめ

兵庫県RSTトレーナー会  
副会長 兼田洪男

会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。事務局を担当をさせて頂いています。当会も、新しく発足して一年余りが経過しました。(株)ノザワ様に永年お世話になっていた事務局を(株)リケン工業が引継ぎ現在に至っています。

この間、毎月定例会の議事録の送付及び見学会の案内等で行き届かない点もあったと思いますがご理解の程よろしくお願い致します。

さて、当会の活動方針の中に、会員の親睦、健康の増進、会員の増強を提唱しています。年齢層はかなり幅広い構成ですが、健康は人間が生きていくうえで最もベースとなります。病気、ケガをしない生き方の一環としてウォーキングをおすすめしたいと思います。

超高齢化時代を迎えようとしている現状で、4人に1人が65才以上、もう5年もすると3人に1人になるとか、それに伴い医療費の高騰は毎年1兆円単位で増加し続けると推計され、我が国の将来に大きな課題として支障することは避けられません。

そこで、国民一人一人がこの問題に真剣に向かい合い、他人事とは考えず、如何に医療費の削減に寄与するか、少なくとも高齢者の方は考えることが肝要です。

今、何故「ウォーキング」なのか、本題に入りたいと思います。

人間は元々、4つ足から進化して2足歩行へと向かい、宇宙で唯一の立体位生活を営んでおり、歩くことが生きることへのベースであり、この世に生まれきて良かったと実感出来るのだと思います。

私も、ウォーキングを意識したのは60才台になってからで、それまでは毎晩のように飲み続けアル中の一歩手前でした。当然のように「大腸がん」「腎臓がん」と患い、このままではと、一念発起して歩きの専門協会(日本ウォーキング協会・JWA)があることを知り、指導員の資格を取得、ウォーキング教室の講師や民間のボランティア活動のウォーキングの企画、運営、指導等を行って少しでも健康寿命を伸ばすために役立とうと努めています。

ウォーキングは“何時でも”“何処でも”“誰でも”比較的安価な運動として有効であり、定着しつつあり、街角で、駅のホームでウォーキングスタイルの元気な高齢者を毎日のように見掛けます。

生活習慣病(高血圧、糖尿病、肥満など)の人、予備軍と言われる人には歩くことがいかに予防に有効かをどの医療関係者も口にします、(寝たきりにならないために)。

そこで、どんなウォーキングスタイルがあるのか、私の経験をとおして紹介してみたいと思います。

(1) 居住地周辺を、コース、距離、時間を決めて日課とするウォーキング

(比較的短距離で自分で好きなように歩ける利点)

(2) 自治体、各私鉄が主催、また各ウォーキング協会が主催するウォーキング

(傷害保険をかけて、ひたすら10~15Kmを歩き放しのスタイル)

(3) 地元の歴史、文化、名所、旧跡をめぐる、趣味を主題に俳句の吟行、バードウォッチングに風景撮影等のウォーキング

(最近はこのウォーキングがトレンドで人気が出てきている)

おすすめるは(1)~(3)をうまく取り混ぜて楽しんでください。



ここからはQ&A形式でウォーキングに参考となる知識を紹介します。

(1) Q・歩く時間帯は・・・いつ歩くか？・・・ウォークに適した時間帯は？

A・歩きたい、或いは歩ける時間帯にムリせず歩けば良いのです

朝のウォーキングは目覚めの効果があり、気持ちがスッキリして一日の生活意欲が高まります。但し、空腹時、満腹時、厳寒時、酷暑の時は注意しましょう、ナイトウォークは食後一時間後、消化をたすけ、熟睡ができる。

(2) Q・人は一日何歩、歩いているのか？

A・現代の人の一日の歩数は人それぞれ、その人のライフスタイルで違ってきます。(江戸時代の人是一日3万歩も歩いていたといわれます)

各職種の典型的な一日における歩数の推定値は

サラリーマン	5,800	管理職	4,500	公務員	5,700
自営業	6,500	セールスマン	5,700	無職老人	2,800
主婦	4,500	歩等			

一日 5,000～7,000歩を週に3回程度はそんなにムリな目標ではないと思いますのでチャレンジしてみてください。

最後に、

- 1、なるべく歩くこと。
- 2、食べ過ぎないこと。
- 3、できるだけ笑顔でいること。

を贈る言葉として、会員の皆様の健康を祈念申し上げます。

“ご安全に”



## 5、定例会（役員会）・安全衛生行事参加報告（4月～9月）

<参加者>敬称略

- ・ 4月1日（火）
  - 役員会 ① 新入会員（2名）の紹介と承認 清土 茂（神戸市）様、麻生信広（尼崎市）様
  - ② 定期総会（4月25日）の確認と役割分担協議 ㈱ノザワ本社 2F会議室
  - 勉強会 テーマ「現場の事故いろいろ。見聞。」 講師：櫻庭和男
- ・ 4月25日（金） 兵庫県RSTトレーナー会平成26年度定時総会開催 <詳細は別紙掲載>
- ・ 5月7日（水）
  - 定例会 ① 平成26年度定期総会（4月25日開催）の総括
  - ② 優良事業所見学研修会及び会員の親睦、健康増進ウォークの予定を協議
  - 勉強会 テーマ「従業員をやる気にさせるほめ方テクニック」 講師：高橋和子 幹事
- ・ 5月14日（水） 大阪安全衛生トレーナー交流会定時総会へ出席 深田
- ・ 5月21日（水） 日本クレーン協会兵庫支部・教習センター竣工式へ出席 金田
- ・ 5月30日（金） 神戸東労働基準協会 定時総会出席 深田 兼田
- ・ 6月3日（火）
  - 役員会 ① 5月分 各関係先の安全衛生行事参加の報告
  - ② 優良事業所見学研修会および健康増進ウォークの予定協議
  - 勉強会 テーマ「保険屋的リスクマネジメントについて」 講師：垣谷恭三
- ・ 6月5日（木） 「兵庫リスク低減運動」団体参加宣言書を 兵庫労働局へ提出 兼田
- ・ 6月10日（火） 兵庫労働基準連合会定時総会へ出席 深田
- ・ 6月17日（火） 兵庫県RSTトレーナー会 会員相互の親睦・健康増進のための  
第2回ウォーキング開催（神戸・須磨歴史紀行・約8km）  
兼田副会長の企画・案内 会員5名参加 深田・柏原・大西・金田・兼田
- ・ 6月18日（水） 京都トレーナー交流会総会へ出席 深田
- ・ 7月1日（火）
  - 定例会 ① 工場見学研修会の予定協議 9月中旬 株ノザワ高砂工場で調整
  - 勉強会 テーマ「監督者の責務（物流安全・機械安全）」 講師：大西昭吉 幹事
- ・ 7月3日（木） 兵庫ゼロ災・リスクアセスメント推進大会へ参加 深田 兼田 大西 金田

- ・ 8月1日（金） 新世紀PV会「安全管理」講演依頼（京都メルパルク京都） 深田
  - ・ 8月5日（火）
    - 役員会 ①新入会員紹介 玉作 衛（たまつくり まもる）様
    - ②工場見学研修会の開催協議 9月16日（火） ㈱ノザワ高砂工場で内定
    - 勉強会 テーマ 「健康とウォーキングについて」 講師：兼田洪男 副会長
  - ・ 9月2日（火）
    - 役員会 ①工場見学研修会 ㈱ノザワ高砂工場および兵庫労働安全衛生大会（西宮市）参加確認
    - ②兵庫労働局長緊急要請 7月末現在で労働災害（死障数）が対前年比で大幅増加傾向
    - 勉強会 テーマ「食品加工機械に対するリスクアセスメント」 講師：大西昭吉 幹事
  - ・ 9月12日（金） 大阪安全衛生トレーナー交流会 優良事業所見学会へ参加 深田  
事業所「深喜毛織㈱」 大阪府泉大津市
  - ・ 9月16日（火） 優良事業所見学研修会 詳細は別紙掲載 13名参加  
事業所：株式会社ノザワ高砂工場（兵庫県高砂市）
- 以 上

## 5、事務局からのお知らせ

- ・ 兵庫県RSTトレーナー会では、原則として、毎月第1火曜日の夜（6時より）、定例会・役員会（偶数月）を 神戸市勤労会館の会議室で開催しております。勉強会の講師は幹事の輪番制でお願いしております。会員以外の参加も大歓迎です、是非ご参加下さい。

<神戸市勤労会館の案内>

住所 〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目1-2  
JR三宮駅より 南東へ徒歩5分 電話：078-232-1881

兵庫県RSTトレーナー会・事務局

〒658-0025

神戸市東灘区魚崎南町3丁目2番20号 ㈱リケン工業内

電話（専用）078-412-2123

FAX 078-412-2776

ホームページ

<http://www.rst-hyogo.com>